

民主党代表選挙結果コメント

今回の民主党代表選は、一括交付金が議論の俎上にあがるなど、地域主権改革がかなり主要なテーマになったため評価している。代表選の結果は、党员・サポーター、地方議員などの世論の動向をみると自然の結果だと認識している。

菅首相は地域主権改革に熱心ではないとされていたが、小沢一郎氏の「地域のことは地域が考えることが日本の活力につながる」といった地方を重視した主張に影響を受け、新しい政権において地域主権改革がさらに推進されることを期待している。

「国と地方の協議の場」の法制化など、子ども手当での地方負担、一括交付金など重要な課題が山積しているが、地方は国のパートナーであるという気持ちがあり、積極的に現場の声を届け、国民の視点による政策が行われるよう協力していきたい。

とりわけ、一括交付金は単なる歳出削減の手段として位置づけるのではなく、地方の自由度を高め、地方発のダイナミックな血の通った政策が全国各地から生まれてくるような理念のもと制度化を進めることを強く求める。

平成 22 年 9 月 14 日

全国市長会 会長 森 民夫